

市町村教育委員会のお仕事探訪

〜朝日村教育委員会にうかがいました〜

今回の現場レポートは、市町村教育委員会のお仕事に焦点を当て、**朝日村の教育委員会事務局**を訪ね取材しました。

東筑摩郡の朝日村は長野県のほぼ中央に位置し、松本市や塩尻市と接しています。鉢盛山を背にしたなだらかな台地に住宅地や耕地が広がり、生活の便利さと自然の豊かさをあわせもつ地域です。

朝日村教育委員会の事務局がある中央公民館で、課長補佐の上條靖尚さんにお話を伺いました。

レポーター 最初に、朝日村教育委員会の職員体制などを教えてください。

上條さん 教育委員会の業務は大きく分けて、「学校教育」、「社会教育」、「子育て支援」、「保育園」の4つがあり、16名ほどの職員がいます。嘱託や臨時職員を含めるともっと多くなりますが、保育園などは別の場所にありますので、「こ」の事務室では6名が働いています。

レポーター 「保育園」も、教育委員会で担当されているんですね。

上條さん はい。最近では県内でも、教育委員会が保育を担当しているところが増えていま



○事務所の様子

中央公民館の一角に、教育委員会事務局があります。

すね。また特に朝日村では、平成27年4月に現在2つある保育園の統合を予定していますので、今年は新しい保育園の建設が大きな仕事の一つになっています。

レポーター 村内に小学校が1校と、組合立の中学校がありますね。

上條さん 朝日小学校は全校児童数が250名ほどです。また、鉢盛中学校は、松本市と山形村、朝日村の3市村による組合立の中学校です。

レポーター 組合立の中学校は、県内でもそれほど多くはありませんが。

上條さん 鉢盛中学校は昭和40年に設置され、県内でも歴史が古いんです。もちろん村立の中学校もいいと思いますが、子どもたちにとっては中学校で友だちが増えますし、いいことだと思っています。

レポーター 小学校では、朝日村ならではの取組はありますか。

上條さん 校舎に村産のカラマツをふんだんに使っています。昇降口の下駄箱や、児童の机や椅子もスチール製ではなく、村内の芸家の皆さんに協力いただいて全てカラマツで作ったんです。実は夏休み期間中に、教室のロッカーをカラマツ製のものに入れ替えています。休み明けに登校してきた児童はびっくりするんじゃないでしょうか。

また、小学校では「ふるさと道場」として、授業の中で地元の人子どもたちに、スポーツや文化活動を教える時間を設けています。時には学校の先生から、「地域にこういうことができる人はいないか」と聞かれることがあるので、教育委員会で適任者を探して紹介したりもします。日頃から学校と教育委員会では、連携・協力していますよ。



○小学校教室

机や椅子もカラマツ製で、子どもたちが運びやすいように軽くする工夫がされています。

レポーター 教育委員会では、公民館の事業も大きなウェイトを占めますよね。

上條さん 公民館では、様々なイベントや文化系・スポーツ系の講座を開催しています。先週の土曜日には村の夏の一大イベントとなる「お夏まつり」を開催し、たくさんの方に参加いただきました。また今年、県の「公民館等による地域課題講座開催支援事業」を活用して、地域による子育て支援にも取り組んでいます。

レポーター 社会教育や社会体育の仕事で大変なことは何ですか。

上條さん 夕方から夜に開かれる講座もありますし、また公民館報の編集会議が深夜に及ぶこともあります。参加されている住民の皆さんはもちろんですが、担当する職員も、仕事の時間がどうしても長くなりますから大変なこともあります。

その一方で、社会教育の担当者は、住民の希望を聞いたり又は自分のアイデアを生かして、新しい講座の企画を考えたりできますから、やり甲斐はありますね。

レポーター これまで思っていたよりも、教育委員会はいろいろな仕事をしていることが分かりました。

上條さん 朝日村教育委員会では、学校や公民館だけではなく、美術館や図書館、グラウンドなどたくさん施設の管理をしています。限られた人員でこれらの施設を維持していくのはなかなか大変ですが、利用される皆さんのためにもいい状態を保つよう努力しています。

レポーター 今日はありがとうございました。



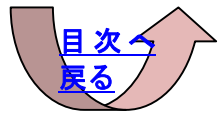
○公民館

公民館に置かれているテーブルやベンチも村のカラマツで作られています。

お話を伺った後、上條さんに学校などの施設を案内していただきました。その際、子育て支援センター「わくわく館」では、夏休み中ということもあってたくさん子どもたちが利用しており、上條さんが声をかけると、子どもたちが駆け寄ってきてあいさつしていました。その姿を拝見して、朝日村では、子どもたちとのふれあいが大事にされていると感じました。

※この記事の内容は、取材をもとに再構成したものです。

(文責:教育総務課企画係 小澤利彦)



■お問い合わせ
教育総務課 企画係
TEL : 026-235-7423
FAX : 026-235-7487
e-mail:kyoiku-kikaku@
pref.nagano.lg.jp